

第2回名寄市都市計画マスタープラン見直し及び

名寄市立地適正化計画策定委員会 議事録

日時 平成30年11月21日(水) 午後6時00分～8時00分

場所 名寄市役所 4階 大会議室

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 説明事項

～経過説明(資料1)～

これまでに開催した都市計画審議会や本委員会などの開催状況や議論内容などを報告。

～先進地視察報告(資料2)～

○事務局から視察報告

11/8に恵庭市へ視察に行ったことを報告。午前に恵み野商店会、午後には緑と語らいの広場「えにあす」で視察を行なった。

[恵み野商店会]

恵み野西地区を中心に金融機関・医療機関も含め、60事業所が加盟をしている商店会。20代、30代の経営者の出店もある。

H23～24で「恵み野商店会活性化振興計画策定会議」を、「恵み野の商業者」「住民」「有識者」を交えて協議や意見交換したのが始まり。

補助金+商店会からの自己資金で、歩道のバリアフリー、駐車帯の設置や植樹マスの整備を行なった。整備することにより「緑の環境デザイン賞 国土交通大臣賞」を受賞し、副賞の賞金や各個店からの出資で商店会全体の植樹、路盤整備を行なった。

大きなイベントを1つではなく、こまめに開催。経営者が店番をしながらでも行なえるイベントを増やした。

[えにあす]

遊休地となっていた市所有の未利用地であった。恵庭駅に近いという立地特性で新

たな賑わいを創出することを目的に**定期借地権方式**を活用。施設の所有者（民間）が一定期間、個人・企業・行政にスペースを貸すかたちをとっている。**公共機能と民間機能の複合的整備**を行なった。

公共施設として、市民活動センター、保健センター、夜間休日・急病診療所、図書館恵庭分館、学童クラブ、子ども広場、子育て支援センター。

民間施設として、フィットネスクラブ・スポーツクラブ、コンビニエンスストア、イートインによるカフェ機能、また地域情報発信機能としてFM e-niwaがある。

施設のコンセプトは、「**3rd place（サードプレイス）**」。職場や学校でもなく家でもない、「もうひとつの居場所」。

学童クラブ・子育て支援センターは、会議室を借りている。会議室を共用することで施設全体の面積の縮減を測っている。

○視察に参加された委員の意見

[恵み野商店会]

- ・人が集まり、街ができ、商店街になるという商業の基本的なあり方。
- ・地権者の団結力、商店会の決断力で国費を導入する事業に取り組んでいた。
- ・若い人が立案し、中高年が実行するという流れを継続していることが良かった。
- ・商店会には駐車場がないため、市民で声を上げ協議し駐車帯を設置した。市民が提案をして変えていくかたちは理想的だった。
- ・商店会の道路は市道であり、整備がしやすかったのもある。名寄市の事情とは少し異なるのではないか。
- ・恵み野商店会ではハロウィンイベントも行われていると聞いた。名寄市はハロウィンイベントを文化センターで行なっているが、少し遠い。中心地にもってきてはどうだろうか。
- ・恵み野商店会のようなものを名寄市にも作れるかと考えた場合、若手・中堅クラスの考えようだと思う。

[えにあす]

- ・民間活力を活かした複合施設。民間が器を作り、その中に行政が入るというかたちをとっている新しいスタイル。行政に対しての負担が軽減され、民間は自由に動けるというスタンスも良い。
- ・元は市の遊休地だと伺った。そこに複合施設を建設するとなったときの行政の決断力がすごく印象的。人の出入りの多さに驚いた。子どもたちの下校時間だったため、図書館にいたり広場で遊んでいる姿が印象的。
- ・恵庭市に必要な施設を整備したのであって、名寄市は名寄市に必要な施設を考えていく必要がある。図書館は分館であるということもあり、少し狭く感じた。一度行った人

が、今後用事がなくても日常的に行く施設となっているか、という点を考える必要がある。

- ・昼過ぎは年配の方が雑誌を読んでいる子ども連れのお母さんなどの姿もあった。

視察が終わる頃には子どもたちがかけて入ってきた。えにあすのような施設は、共働きの家庭にはありがたい施設なのではないか。

- ・外観からみると小さく感じたが、たくさんの公共・民間施設が入っており小さくても複合施設は可能であることがわかった。

- ・駐車場が少し狭かった。えにあす前に路線バスの停留所があったので、公共施設的には利用しやすいのではないか。

- ・図書館の横にコンビニエンスストアがあり、飲み物を買ってオープンスペースで読書しながら飲み物を飲むことが可能。オープンスペースは勉強や仕事をしている人もいた。

- ・広くはないが設計で工夫して広くみえるようにしている。

- ・えにあすと同じものを名寄市に建てることは難しい面もある。ただ、人口と資産が減る中で、人が集まり名寄市の中心となる施設は必要。今後、子ども・高齢者の問題が重視されるため、憩いの場・安心の場ができるのであれば作る必要性は出てくる。

～名寄市立地適正化計画策定検討資料（楸ドーコン）～

○名寄市立地適正化計画策定について

名寄市の将来人口推計を見ると、およそ10年後には人口が23,677人、20年後になると19,903人とだんだん人が減少する。そのことを見据えて人口が減っていても便利なまちづくりをしなければならない。20年後の人口で、どのくらいの範囲で区域設定を行なうべきか考えていく必要がある。

H22～26の公共施設更新費用の年平均は11.5億円。これが施設の老朽化などによりH27～46の平均を推移すると**年平均39.7億円**と、およそ3倍の額になってしまう。この推計からして、公共施設の面積を減らし更新費用も減らすことが重要になってくる。（名寄市の公共施設面積削減目標は13%）

名寄市で考えられる都市構造は2パターン検討される。

パターン1として「**中心市街地再構築型**」。中心市街地に「中心生活交流拠点」を絞り込んで位置づける。長所は、古くから馴染み・思い出のある中心商業地の現代的な再生（中心生活交流拠点）を推進する強力なきっかけを創ることができること。短所は、現在民間地権者が多い中心市街地で公共施設等の再配置を実現していくには市民合意と時間と費用がかかり困難がつきまとう。

パターン2として「**生活実態追従分散型**」。名寄駅前と南地区に1つずつ「中心生活交流拠点」を位置づける。長所は、南地区には大規模ショッピングセンターや小学校、

スポーツセンター等が立地しており、実態として市民生活の場となっていることから南地区の市民の利便性が向上すること。短所は、公共施設等を分散して配置することでまちづくりの起爆剤としての効果がやや弱くなることが懸念されることや、まち全体の構造が南北に拡散することで、利便性の低下や行政コストの増大が懸念されること。また、工業系用途地域に住宅が張り付いていくことを許容するため、現行の都市計画の考え方には逆行する。

○意見交換

- ・昔は交通機関である船着場や汽車などがあり、そこに行かなければいけない理由があったが、今は自家用車で移動するため、駅に行く必要性が薄れている。
- ・小学校の生徒数に格差が出てきている。南小学校が3～4クラス、他の小学校は1クラスしかない現状。この状態で2分化してしまうと人工が南地区に寄ってしまい、生徒数の減少した小学校は建替えをするか統合するかという新しい問題ができるのではないかと
- ・名寄庁舎も建替えを行なうのであれば今の位置は厳しい。
- ・拠点をもつてしまうとまた違う問題で南地区に広がってってしまうのではないかと。何かしら規制をかけなければ、市の財政状況的にも厳しいのでは。
- ・分散型よりも一極集中型のほうが維持面でいいと思う。これから、人口が減っていくことも見据えて一箇所に集中させたら市の負担も少なくなると考える。
- ・徳田17線から18線の間に住宅が増え、5丁目6丁目は空き地が多くなっている。
- ・複合施設を建てるのであれば、南広場でもいいが駐車場のスペース確保が難しいのではないかと。
- ・複合施設を建てるのであれば、子育てや医療関係のものをできるだけ詰め込んだ施設にするべき。
- ・両方メリットデメリットがあると思うが、一極集中型のほうが良い。南側に一極集中するという考えはどうだろうか。
- ・よろ一なという新しい施設を拠点にするか、大学生などが利用しやすいように商店街を拠点とするか、検討する必要がある。
- ・市の中心は駅だということを念頭において進めなければならない。駅の近くに人を集めるようにして、駅の利用も促進されるようになると良い。大型マンションの誘致ぐらいの方が良いのでは。それくらい人口減になったときに公共交通が重要になってくると思う。
- ・難しい課題はたくさんあると思うが、現在の市街地を再生していくことが良い。
- ・複合施設を建てるとなると、お金と駐車場さえあればどこでも良いのでは。
- ・行政と民間が歩み寄ってなにか作れたら良いのではないかと。例えば児童センターや民間の学童保育は施設の目的が違うものかもしれないが話し合うことで1つのコンパクト

トな施設にならないか。

・車移動で駅をあまり利用しない人からすると駅中心という考えはあまりない。

・名寄市民は車を持っている方が多いので駐車場さえあれば分散型でもいいのではないかな。

・新築を建てるとなると、中心市街地側に土地がないことからやむを得ず南地区に家を建てたという話も聞いた。中心市街地側は土地が空いていたとしても所有者がいるのでなかなか建てられない。

・名寄南小学校が一番新しい小学校ということもあり、それを理由に南地区に家を建てる人もいる。今後他の小学校が建替えになったときにその地区に寄っていく可能性もある。

・名寄の商店街には卸しのお店が多いので、卸しセンターのようなものを作ってその中に一括して入れ、空いたスペースを使って何かを作るのが良いのではないかな。

・風連は中心地に施設を多く作っていて便利だと感じている。名寄も中心地に作ると良いのではないかな。

委員長まとめ

みなさんの意見を聞く限りでは分散型は避けたほうが良いのではという結果と感じている。今回の議論を踏まえ、一極集中型にする場合、どこに集めるかといったことについては今後また検討してまいりたい。

～今後のスケジュールについて～

○12月

- ・12/12 まちづくりシンポジウム
- ・市民アンケート

○2月

- ・都市計画審議会にて中間報告予定
- ・第3回都市計画マスタープラン見直し及び名寄市立地適正化計画策定委員会
(都市構造・立地適正化区域の方針、アンケート結果分析)

4. その他

5. 閉会